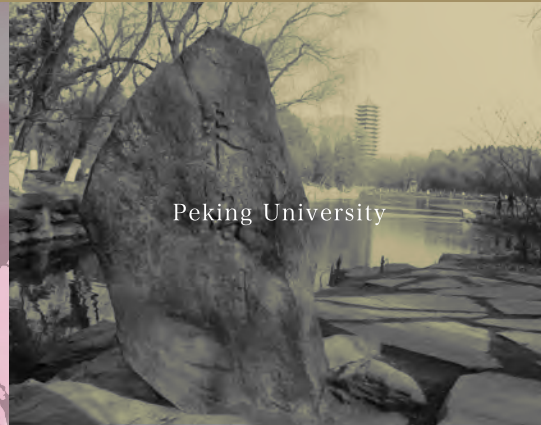


日・中・韓における最高水準の学位&交換留学プログラム

CAMPUS Asia

多文化的な視点を持つ
次世代アジアのリーダーを養成



BESETO:次世代アジアのリーダー達が出会う場所。

公共政策大学院の「CAMPUS Asia」プログラムとは

BEIJING SEUL TOKYO
北京・ソウル・東京の国立三大学を舞台にした、東アジアの公共政策・国際関係分野での英語による最高水準の学位・交換留学プログラムです。

公共政策大学院では、世界の公共政策系大学院(*)との交換留学やダブル・ディグリー(DD:2つの大学で、2年~2年半の間にそれぞれの学位を取得する)を実施しています。CAMPUS Asiaは、北京大学国際関係学院、ソウル大学校国際大学院、東京大学公共政策大学院(BESETO)の三校で、英語での教育による交換留学やダブル・ディグリーを通して、公共政策・国際関係分野における大学院レベルでの日中韓交流を促進するプログラムです。

この取組は文部科学省「大学の世界展開力強化事業」(2011年度)に採択され、質の保証を伴った単位の相互認定や学位授与に至るプロセスを導入し、グローバルな人材育成を目的としています。授業料は相互不徴収で、所属大学へのみ納入します。政府補助金により2015年度までの参加学生は、航空運賃や宿舍、滞在費など様々なサポートを受けながら、専門分野の科目だ

けでなく中国語や韓国語の授業も受けられ、留学先でインターンシップを行うチャンスもあります。

2012年度は「交換留学」、2013年度からは交換留学に加え「ダブル・ディグリー」の導入を目指します。交換留学の段階では、東京大学からの参加学生は、東京大学で1年間、他の2大学で1学期(半年)ずつ学習し、留学中の単位を東京大学で認定して、東京大学の学位と協定2校からの認定証を受けます。ダブル・ディグリーの段階では、東京大学からの参加学生は、東京大学で1年間、2つ目の学位を受ける大学で1年間、さらにもう一方の大学で1学期間学習し、2年半で2大学の修了要件を満たし、東京大学を含む2つの学位とも一方の大学の認定証を受けることが出来ます。

2012.5現在の協定校(★はダブル・ディグリーと交換留学実施中、☆は交換留学実施中でダブル・ディグリー交渉中、○は交換留学実施中)

★シンガポール国立大学リー・クワンユー公共政策大学院(LKY-SPP)、★コロンビア大学(SIPA)、★パリ政治学院(SciencesPo.)、☆北京大学国際関係学院(PKU-SIS)、☆ソウル大学校国際大学院(SNU-GSIS)、☆ヘルティ・スクール・オブ・ガバナンス(HSoG、ベルリン)、○カリフォルニア大学サンディエゴ校・国際関係・環太平洋研究大学院(IR/PS)

留学先DATA

日本に最も近いアジアの歴史ある大学環境から視野を深め、語学を学ぶ。

北京大学(中国)

DATA

北京大学は1898年に、初めての国立の総合大学として設立された国家重点大学のひとつであり、中国の高等教育の代表的な教育機関として多くの政治家や科学者を輩出してきた。大学評価の世界的指標であるThe Times Higher Educationによる「世界大学ランキング2010-2011」(THE)ではアジアで5位、中国本土ではトップである。国際関係学院ではロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)との提携により英語での授業を提供しており、LSEの教員による授業も行われている。



ソウル大学校(韓国)

DATA

ソウル大学校は、1946年に韓国で初めての国立大学として設立された。16学部、1大学院、6専門大学院がある。THE 2010-2011ではアジアで12位、韓国で3位である。ソウル大学校の卒業生からは、金泳三(第14代大統領)、金鍾泌(第11・31代国務総理)、潘基文(国連事務総長)らを輩出している。国際大学院(GSIS)は1997年に人文、社会科学、経営、法学の各部門が分野横断的な国際的研究の専門家を養成するために設立された。ごく一部の授業を除き授業はすべて英語で行われている。



キャンパスアジアコース、2013年4月開講。

東京大学公共政策大学院では、CAMPUS Asiaプログラムへの参加をしやすくするために、英語で行う科目を中心として履修し、PKUとSNUからの単位を持ち帰ることを修了要件の一部にした「キャンパスアジアコース」を2013年4月に開講します。願書受け付けは2012年8月です。

◎ 詳しくはGraSPPのホームページでご確認ください。 <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/index.htm>